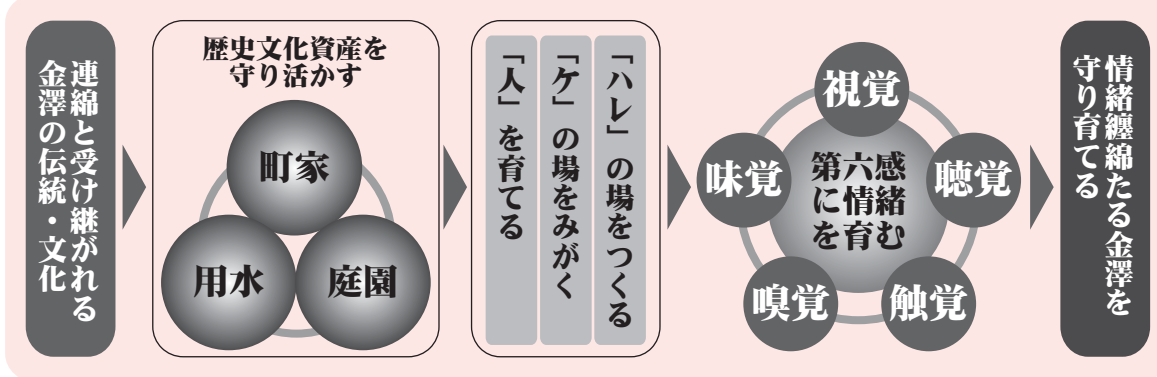


赤組 (町家／庭園／用水)

■テーマ

情緒纏綿たる金澤を守り育てる
～第六感に伝える金澤のハレとケ～

■提案の概要



■プレゼンター

木谷 弘司

Hiroshi KIDANI

金沢市役所都市計画課に在籍。平成に入ってこのかた都市計画と交通政策に関する仕事に携わり、酸いも甘いも含めて金澤のまちづくりが仕事です。最近、全国の大学の先生方との研究活動も行っており、いろいろな街を見て歩きマニアックな写真を撮ることが楽しみという、仕事と趣味の区別がつかない生活をしています。

鈴見 裕司

Hiroshi SUZUMI

石川県土木部に勤務。能登から加賀まで通勤を繰り返すうちに、歴史的文化資産に囲まれた金澤の素晴らしさと石川県の中心都市としての金澤の役割の大きさを痛感しました。現在は、能登半島地震災害のピンチをチャンスと捉え、能登地域の創造的復興計画づくりに奮闘中。

宮本 秀夫

Hideo MIYAMOTO

東京で4年修行の後、金沢に戻って家業の書店を継ぎ、現在、中心市街地に3店、郊外に2店の計5店舗を運営しています。昨年まで、武蔵商店街理事長と武蔵活性化協議会会長を務め、武蔵周辺地区のまちづくりを進めてきました。中心市街地と郊外の有り様やコンパクトシティ、地域経済の活性化など、都市やまちづくり全般に関心を持っています。



第九回K・C・A・Tフォーラム

「歴史文化資産」を活かした 「金澤づくり」を考える

住んで良し・訪れて良しのまち

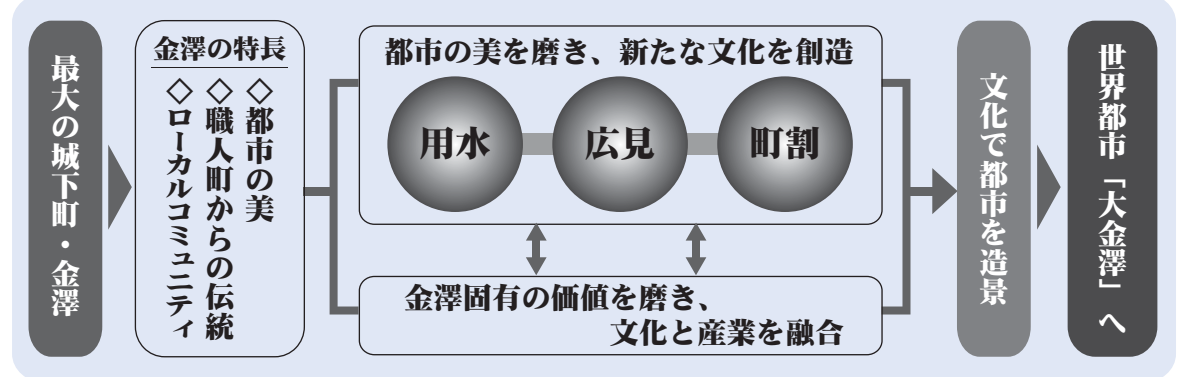
金澤には、金沢城や兼六園のほか、町家、用水・堀、広見などたくさん歴史文化資産があります。また、伝統工芸や伝統産業、食文化など、多様な文化が今も息づいています。北陸新幹線開業を控え、金澤のまちが大きく変わろうとしているいま、金澤の歴史文化資産を守り、活かすまちづくりのあり方を一緒に考えてみましょう。

青組 (用水／広見／町割)

■テーマ

金澤を磨き「大金澤」へ
～文化は都市を造景する～

■提案の概要



■プレゼンター

青海 万里子

Mariko AOMI

金沢美大入学以来、片町で飲んでも歩いて帰れる範囲に住み続け、古都金沢で暮らす楽しさを満喫しています。生まれ育った神奈川県は、帰る度に浦島太郎状態。かつてのたたずまいはみじんもありません。住む人には変わり映えない町並みでも、遠所者(えんじょもん)の目で見ると、活かし切れていない魅力がまだまだいっぱいあるような気がしてなりません。

北原 良彦

Yoshihiko KITAHARA

現在、能登および金沢市内で会社を運営しています。これまで、東北、関東、関西など石川県外に22年居住していたほか、視察などで海外20カ国以上を訪問しました。その経験をフル活用し、県外や海外からの視点も踏まえて、金澤の歴史文化資産を考え、提案・討議を行います。

不破 正人

Masato FUWA

現在、金沢市役所の景観政策課に勤務し、金澤の景観をより良い姿で、将来に残していく仕事をしています。家庭に帰れば二人の小学生の父親であり、休日にはもっぱら小学校の活動や、消防分団員として地域防災活動をおこなっています。6月に家族がひとり増えることとなり、毎晩子供の名前を考えながら眠りにつくのが楽しいこの頃です。

